

理事長あいさつ

看護実践学会は、金沢を拠点として研究成果の発信や先駆的な実践の紹介などを行っています。学会の歴史は古く、現在、約800人の会員数もち活動しています。

主な事業は、①年1回の学術集会 ②年2巻の学会誌発刊 ③看護実践力向上のための研修会 ④研究力向上のための研修会 ⑤優れた看護実践の普及活動 ⑥研究或いは看護実践活動ネットワーク支援です。

皆様におかれましては、数ある学会の中でどの学会に所属しようかと迷うことも多いと思いますが、本学会の特徴をご覧になり、ぜひ会員になっていただき、学会活動に参加して下さるようお願いいたします。また、すでに会員となっておられる方は、継続されますことをお願いいたします。

本学会は、看護実践の向上を第1の目的としておりますので、臨床と教育・研究機関が連携した活動を大切にしています。また、学会を身近に感じていただき、参加はもとより、研修会や学会の主催・企画する立場の経験も可能です。研究指導を受けてみたい、あるいは、あの人と一緒に研究をやってみてみたいなどの希望もかなう可能性があります。

また、学会誌を年2回発行しています。行った研究を論文とし、学会誌に掲載される経験もぜひ体験してほしいと思います。これまで学会誌に掲載された論文は高く評価され、多くの方々の看護実践に活用・役立ていただいています。次年度も、たくさんの論文投稿をいただきたいと思います。

本年度も、看護実践の質向上を目指した連携を行っていききたいと思います。さらなる本学会の発展に向けて、知の創造と確かで豊かな看護技術の実践を一緒に目指して今年度も活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

看護実践学会理事長 稲垣 美智子
(金沢大学医薬保健研究域保健学系 看護科学領域教授)

